

2024年は闘いの年

新しい年を迎え、組合員・サポーターの皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

元日の夕方に能登半島で大規模な地震が発生、翌日には羽田空港で航空機事故が起こるなど、新春を寿ぐことが憚られるような年明けでした。また、去年は芸能事務所における性加害問題や歌劇団におけるハラスメントが明るみになった外、年末に報じられた政権与党内議員による裏金問題が越年し現在も検察庁の捜査が続いています。

こうした世相の中にあって、労働運動の分野では明るいニュースもありました。人手不足と物価高騰を背景にして労働者の賃金引き上げは近年になく高い水準となり、その基調は今年も続く見通しです。

情報開示と雇用の確保を求めて百貨店業界では61年ぶりに打ち抜かれた「そごう・西武」労組のストライキは概ね好感を以て世間の人々に受け入れられたところです。個人加盟のユニオンが取組んだ小さな争議についてもマスコミで報じられることが多くなってきたと実感されます。

今年も引き続き、西播磨地域で労働者が抱える問題に全力で取り組んでいきたいと思えます。皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



新年の抱負（組合員A）

赤穂市にある旅館に勤めて7年が経ちました。入社2年後に中国人オーナーに経営が変わり、環境は大きく変化しました。潤沢な資本投入がされる中、上司は無計画にお金と人材を浪費した挙句、経営赤字であると他人事のように発言する始末でした。そこには共有されるべき計画や目標のスローガンはなく、責任者も曖昧でした。私はそんな職場実態の改善を訴えましたが、「考えが合わない」との理由で退職勧奨を受けました。その後、私は「経営に関する進言が多い」といった理由により経営側から煙たがられます。

一昨年8月、弁護士と上司同僚7人の前に1人呼び出されて詰問される事があり、この時に姫路ユニオンに相談しました。団体交渉を3回行いましたが、私だけが賞与不支給とされ、カメラでの監視・暴言等、会社ぐるみのハラスメントは続いています。昨年2月には支配人が退社。副支配人が支配人となりましたが内情は改善されません。7月には経営改善のため本社より中国の従業員が数名配置されましたが、更なる混乱を招き新たな問題を生み出しています。私自身への会社の対応は何ら変わっておらず、現在私はメンタル不調により休職しています。

新たな年はパワハラを立証し、ユニオンと共に1年半に及ぶ闘争に勝利することを決意しています。

